



2017-2018 年度 第 1740 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：坂本昭一 幹事：藤島 拓 広報委員会リーダー：酒澤伸二

例会会場及び例会日：ホテルニューイタヤ<<水曜 12:30>>

事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内

TEL：028-635-5511（ホテルニューイタヤ）

ロータリー：
変化をもたらす



9 月 第 2 例会

2017 年 9 月 13 日(水)



会員数 52 名 出席 24 名



司 会

枝野 修一 S.A.A

- ロータリーソング「我らの生業」



会長の時間

坂本 昭一 会長

皆さんこんにちは。

9月に入り、日々秋の気配がして参りました。

本日は、地区ロータリー米山記念奨学会委員会 辻 裕司委員長と同委員会 学友委員会 長 正英委員長がお越しくございました。後程、卓話を頂戴いたします。よろしくお願い致します。

ロータリーの9月のテーマは「基本的教育と識字率向上月間」です。読み書きのできない成人が世界には約7億人以上いると言われております。基本的教育の機会を広げ、子供と成人の識字率を向上させるための月間となります。また、ロータリーの友月間でもあります。毎月読んでいただきたいと思っております。

9月20日(水)は若月ガバナー補佐訪問、10月4日(水)太城ガバナー公式訪問です。皆様のご出席をよろしくお願い致します。



幹事報告

藤島 拓 幹事

§ 9月20日(水)若月ガバナー補佐訪問、10月4日(水)太城ガバナー公式訪問

§ 地区大会のご参加をよろしくお願い致します。(FAX 案内)

§ 第 2550 地区親善野球大会へのご協力をよろしくお願い致します。(FAX 案内)

§ 第 41 回ライラセミナーが 11 月 3 日より開催されます。参加ご希望の方をご推薦願います。



スマイルボックス委員会報告

中野 智之 委員長

§ 長 正英様（第 2550 地区 ロータリー米山記念奨学会委員会 学友委員会 委員長・宇都宮陽北 RC）

本日はよろしくお願い致します。

§ 坂本昭一会長 米山記念奨学会 学友会委員長 長 正英様、米山記念奨学会についての卓話、よろし

くお願い致します。

- § 藤島 拓幹事 ①地区米山記念奨学会 学友会委員長 長様、本日の卓話、よろしくお願い致します。
②9月19日(火)雨で延期となった野球ナイター試合、北・陽東戦が中止とならないように祈ってスマイルします。
- § 若月章男会員 長委員長、辻委員長、ようこそいらっしゃいました。本日は卓話、よろしくお願い致します。
- § 笠原正人会員 今日の例会卓話者は、米山記念奨学会の大先生です。クラブ委員長として大変緊張しています。長先生、辻先生、よろしくお願い致します。
- § 仲田俊夫会員 米山記念奨学会学友会員の長様、卓話よろしくお願い致します。また、毎例会時にロータリー財団、米山記念奨学会の寄付をしております。よろしくお願い致します。
- § 山本敬三会員 弊社創立40周年を9月1日に迎えました。50周年に向かって頑張ります。
- § 中野智之会員 長委員長、本日の卓話、よろしくお願い致します。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました 今週の金額 9,000円



地区委員卓話

米山記念奨学会委員会 学友委員会
長 正英 委員長
米山記念奨学会委員会
辻 裕司 委員長

「米山記念奨学会について」



ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命です。

その歴史は50年以上前にさかのぼります。平和を愛し、青少年に手をさしのべた“日本ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として、1952年、東京ロータリークラブは、海外からの留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがてそれは、日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、1967年に文部省(現・文部科学省)を主務官庁とするロータリー米山記念奨学会が設立されました。

50有余年の歴史を持ち、世界に類を見ない日本ロータリー独自の多地区合同奉仕活動となっています。

米山記念奨学会の特色

一番の特徴は、その規模です。米山奨学生の採用数は、2013年度より年間700人。世界規模で展開しているロータリー財団国際親善奨学生の年間採用数と同じです。これだけの外国人留学生を支援している奨学団体は、事業規模・採用数とも日本国内では民間最大です。これまでに支援した奨学生数は累計で約1万7千人(2012年7月現在)、その出身国は、世界121の国と地域に及びます。米山学友(元米山奨学生)は、韓国駐日大使やスリランカ警察庁長官、韓国・台湾のガバナーに就任した人など、世界中で活躍しています。

米山梅吉翁から米山記念奨学会へ（配布資料）

1868年（慶応4）2月4日米山梅吉は東京芝田村町に誕生。

父は大和国高取藩士（奈良県高市郡高取町）和田竹蔵、梅吉は三男。梅吉が4歳の時父が他界。母親の郷里である静岡県三島に移り住む。

幼いころから神童。隣村の長泉村（静岡県駿東郡長泉町）の大地主、米山家の目に留まり、養子縁組を結んだ。しかし、小作米を受け取るだけの大地主の若旦那となることを潔しとしなかった梅吉は、沼津中学を2年で中退。より高度な教育を求めて東京へ。

19歳でアメリカにわたり、8年に及ぶ留學生活を送った。東京での4年間とアメリカでの8年間、完全なる苦学生として働きながら勉強した。

1895年（明治28）に帰国、翌年、三井銀行に入行。1909年（明治42年）41歳で常務取締役。財界の有力者になり、海外視察の際にロータリークラブの存在を知り、その奉仕理念に深く感銘を受け、1920年（大正9）東京RCを創立。初代会長。1924年（大正13）スペシャルコミッショナー、その2年後アジア初のRI理事。1924年三井信託銀行設立し代表取締役へ。

青年期のほとんどを苦学生として過ごした米山は、向学心がありながら学費に窮する学生への援助を惜しまなかった。歌人の佐佐木信綱氏の知り合いの青年が大学進学後学費に困っているという話を聞き「未来ある人なら」と3年間の援助を申し出た。その際「米山という名は先方に教えてください。ただ、遠くから見守っているものがあるから、と激励して渡されたい」と言って、第1回目の援助金を佐佐木氏に手渡した。また、アジアからの留学生にも物心両面にわたる援助を行った。

1940年（昭和15）世界大戦が激化、日本のRC解散。1945年まだRCできる状況ではなかった。

1946年4月28日米山他界。誰よりもRCの復活を願っていた。

1947年1月27日ポールPハリス他界。

1949年RIへ復帰。米山がそれを見届けることがかなわなかったことが悔やまれた。ポールPハリス氏の死後に国際奨学制度が発足されたこともあり、日本でも、米山の偉業を記念する事業を創設しようとする声が大きくなった。

ロータリー財団奨学生第1号として1950年に清水長一氏が渡米したこれは日本のロータリー復帰と発展の兆しを象徴するような喜ばしい出来事であった。1951年のサンフランシスコ講和条約締結により日本の国際社会への復帰。終戦直後は深刻な物資不足による急激なインフレなど厳しい経済状態であった。1950年に勃発した朝鮮戦争によって日本に軍需景気をもたらし、発展の時代に入った。戦後の混乱が落ち着き日本のロータリーの指導者の間で米山の功績を永久的に偲ぶことができるような有益な事業を始めようという動きがますます活発になっていった。

1952年東京RC古沢丈作会長によって米山基金設立の構想思案が示された。

* アメリカのフルブライト奨学金について解説

出席報告 市原久典 副委員長

会員数	52名	前々回	8月23日
出席数	28名	訂正率	100%
欠席数	24名		
出席率	63.64%		

例会予定

第1741回
9月20日(水) クラブアッセンブリー
ガバナー補佐訪問
第3グループB 若月章男ガバナー補佐



プログラム

日付	時間	プログラム	例会場
第 1742 回 9 月 27 日 (水)	12 : 30 ~ 13 : 30	外部卓話 : 「地球温暖化について」 オフィス eco&eco 代表 渡邊重宣 様	ホテルニューイタヤ

日付	時間	プログラム	例会場
第 1743 回 10 月 4 日 (水)	12 : 30 ~ 13 : 30	クラブアッセンブリー : ガバナー公式訪問 第 2550 地区 太城敏之ガバナー	ホテルニューイタヤ
第 1744 回 10 月 11 日 (水)	12 : 30 ~ 13 : 30	地区委員卓話 : 「ロータリー財団について」 第 2550 ロータリー財団補助金小委員会 森本 敬三 委員長	ホテルニューイタヤ
第 1745 回 10 月 15 日 (日)	8 : 30 ~ 17 : 00	第 2550 地区 地区大会 本会議	宇都宮 グランドホテル
10 月 18 日 (水)		10 月 15 日 (日) 地区大会 振替休会	
第 1746 回 10 月 25 日 (水)	18 : 30 ~ 20 : 30	夜間例会 : お月見夜間例会	ホテルニューイタヤ